

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年6月14日
【四半期会計期間】	第65期第3四半期（自平成24年2月1日至平成24年4月30日）
【会社名】	株式会社稲葉製作所
【英訳名】	INABA SEISAKUSHO Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 稲葉 明
【本店の所在の場所】	東京都大田区矢口2丁目5番25号
【電話番号】	03(3759)5181
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理部長 江口 勤
【最寄りの連絡場所】	東京都大田区矢口2丁目5番25号
【電話番号】	03(3759)5181
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理部長 江口 勤
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第64期 第3四半期 連結累計期間	第65期 第3四半期 連結累計期間	第64期
会計期間	自平成22年8月1日 至平成23年4月30日	自平成23年8月1日 至平成24年4月30日	自平成22年8月1日 至平成23年7月31日
売上高(千円)	19,560,661	21,216,069	26,425,010
経常利益(千円)	159,542	499,723	711,547
四半期(当期)純利益又は四半期純 損失( )(千円)	68,835	108,949	180,426
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	64,748	136,606	177,657
純資産額(千円)	31,878,202	31,693,181	31,828,296
総資産額(千円)	44,803,585	44,804,201	44,783,949
1株当たり四半期(当期)純利益金 額又は1株当たり四半期純損失金額 ( )(円)	3.90	6.42	10.29
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	71.2	70.7	71.1

回次	第64期 第3四半期 連結会計期間	第65期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年2月1日 至平成23年4月30日	自平成24年2月1日 至平成24年4月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	9.06	18.33

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第64期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災、タイでの洪水の影響等による厳しい状況から、復興需要などを背景に緩やかな回復経路に復しております。しかしながら、円高の長期化、欧州の債務不安の再燃が懸念され、企業を取り巻く環境は依然として不透明な状況となっております。

このような経営環境の中で、当社グループの鋼製物置セグメントにおきましては、昨年10月に新製品のゴミ保管庫（ダストボックス・ミニ）、自転車置場（B Pタイプ）を市場投入しましたほか、オフィス家具セグメントにおきましては、生産ラインの見直しを行うとともに、機を見た『BCPキャビネット』の販促に努めたことから、売上は増加となり、さらに鋼板単価が徐々に抑え気味傾向となったこと等により、損益も改善いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比8.5%増加の21,216百万円、営業利益は349百万円（前年同期は2百万円の営業利益）、経常利益は499百万円（前年同期比213.2%増）となりました。

また、オフィス家具セグメントの減損損失126百万円、保有する投資有価証券の株価変動による損益影響を軽減すべく一部売却を行ったことから、投資有価証券売却益58百万円、投資有価証券売却損57百万円を計上しました。その結果、四半期純利益は108百万円（前年同期は68百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（セグメント売上高）：当第3四半期連結累計期間（自平成23年8月1日至平成24年4月30日）

セグメントの名称	金額（百万円）	前年同期比（%）	構成比（%）
鋼製物置	13,408	115.4	63.2
オフィス家具	7,808	98.3	36.8
合計	21,216	108.5	100.0

#### （鋼製物置）

昨年2月より小型収納庫、一般物置におきまして新色の豊富なカラーパリエーションを取り揃え、代理店への拡販に努めた結果、出荷棟数で前年同期比各約112%、約111%を達成しました。また、ガレージシリーズも順調に推移し前年同期比約116%となり、全体としての出荷棟数は前年同期比約112%となりました。

その結果、売上高は東北地方の復興需要と全国的な防災意識の高まりもあり13,408百万円（前年同期比15.4%増）、セグメント利益は増収効果により1,455百万円（前年同期比98.6%増）となりました。

#### （オフィス家具）

「デスク構造及び生産体制見直し」に伴い生産ラインのレイアウト変更・再編成を行いました。軌道に乗せるのに若干時間を要し、生産性が一時低下した局面もありました。また、依然として企業のオフィス投資は盛り上がりず、熾烈な価格競争が続いている状況にあります。

その結果、売上高は7,808百万円（前年同期比1.7%減）、セグメント損失は450百万円（前年同期は144百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、206百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年4月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年6月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,922,429	17,922,429	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	17,922,429	17,922,429	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年2月1日～ 平成24年4月30日	-	17,922,429	-	1,132,048	-	763,500

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年1月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年4月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 939,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,979,500	169,795	-
単元未満株式	普通株式 3,229	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	17,922,429	-	-
総株主の議決権	-	169,795	-

(注)「完全議決権株式(その他)」には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が400株(議決権4個)含まれております。

【自己株式等】

平成24年4月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社稲葉製作所	東京都大田区矢口 2丁目5番25号	939,700	-	939,700	5.2
計	-	939,700	-	939,700	5.2

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成24年2月1日から平成24年4月30日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成23年8月1日から平成24年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,636,110	13,920,393
受取手形及び売掛金	7,589,922	8,280,278
有価証券	-	400,000
商品及び製品	2,028,417	1,937,232
仕掛品	169,495	154,107
原材料及び貯蔵品	371,301	322,845
その他	450,815	572,107
貸倒引当金	38,635	36,193
流動資産合計	25,207,426	25,550,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,807,114	3,733,406
土地	11,781,179	11,781,179
その他(純額)	876,570	824,459
有形固定資産合計	16,464,865	16,339,045
無形固定資産	116,506	110,425
投資その他の資産		
その他	3,010,421	2,819,078
貸倒引当金	15,271	15,118
投資その他の資産合計	2,995,150	2,803,960
固定資産合計	19,576,522	19,253,430
資産合計	44,783,949	44,804,201
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,206,345	7,267,492
未払法人税等	24,204	112,155
賞与引当金	237,918	466,591
その他	1,903,968	1,822,240
流動負債合計	9,372,437	9,668,480
固定負債		
退職給付引当金	2,439,643	2,307,151
役員退職慰労引当金	374,020	375,535
その他	769,551	759,853
固定負債合計	3,583,214	3,442,539
負債合計	12,955,652	13,111,020

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,132,048	1,132,048
資本剰余金	763,500	763,500
利益剰余金	30,754,278	30,591,505
自己株式	805,753	805,753
株主資本合計	31,844,073	31,681,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,776	11,881
その他の包括利益累計額合計	15,776	11,881
純資産合計	31,828,296	31,693,181
負債純資産合計	44,783,949	44,804,201

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年4月30日)
売上高	19,560,661	21,216,069
売上原価	15,207,349	16,378,552
売上総利益	4,353,312	4,837,517
販売費及び一般管理費	4,351,252	4,488,400
営業利益	2,060	349,116
営業外収益		
受取利息	21,697	19,198
受取配当金	4,455	5,616
作業くず売却益	83,020	77,690
雑収入	50,962	51,375
営業外収益合計	160,136	153,881
営業外費用		
支払利息	618	905
自己株式取得費用	2,012	-
為替差損	-	2,299
雑損失	23	70
営業外費用合計	2,653	3,275
経常利益	159,542	499,723
特別利益		
投資有価証券売却益	-	58,905
貸倒引当金戻入額	51,528	-
その他	-	8,114
特別利益合計	51,528	67,020
特別損失		
減損損失	55,359	126,032
投資有価証券売却損	2,786	57,669
その他	144,516	42,302
特別損失合計	202,663	226,004
税金等調整前四半期純利益	8,407	340,739
法人税、住民税及び事業税	9,997	109,380
法人税等調整額	67,246	122,409
法人税等合計	77,243	231,790
四半期純利益又は四半期純損失( )	68,835	108,949

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	68,835	108,949
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	4,086	27,657
その他の包括利益合計	4,086	27,657
四半期包括利益	64,748	136,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,748	136,606

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年4月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
受取手形	232,243千円	251,970千円
支払手形	11,219千円	1,616千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年4月30日)																
減損損失 当第3四半期連結累計期間において、以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。	減損損失 当第3四半期連結累計期間において、以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛知県 犬山市他</td> <td>オフィス家具 事業資産</td> <td>有形固定資産 「その他」</td> <td style="text-align: right;">55,359千円</td> </tr> </tbody> </table>	場所	用途	種類	金額	愛知県 犬山市他	オフィス家具 事業資産	有形固定資産 「その他」	55,359千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛知県 犬山市他</td> <td>オフィス家具 事業資産</td> <td>有形固定資産 「その他」</td> <td style="text-align: right;">126,032千円</td> </tr> </tbody> </table>	場所	用途	種類	金額	愛知県 犬山市他	オフィス家具 事業資産	有形固定資産 「その他」	126,032千円
場所	用途	種類	金額														
愛知県 犬山市他	オフィス家具 事業資産	有形固定資産 「その他」	55,359千円														
場所	用途	種類	金額														
愛知県 犬山市他	オフィス家具 事業資産	有形固定資産 「その他」	126,032千円														
当社グループは資産を鋼製物置事業資産、オフィス家具事業資産及び遊休資産にグルーピングしております。この内オフィス家具事業資産については、予想を超える急激な市況の悪化に伴い、当第3四半期連結累計期間において、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当資産グループの回収可能価額は、零として評価しております。	当社グループは資産を鋼製物置事業資産、オフィス家具事業資産及び遊休資産にグルーピングしております。この内オフィス家具事業資産については、更なる市況の悪化に伴い、当第3四半期連結累計期間において、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当資産グループの回収可能価額は、零として評価しております。																

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年4月30日)
減価償却費	440,770千円	444,691千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年8月1日至平成23年4月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年10月15日 定時株主総会	普通株式	143,377	8	平成22年7月31日	平成22年10月18日	利益剰余金
平成23年3月16日 取締役会	普通株式	140,425	8	平成23年1月31日	平成23年4月7日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成23年8月1日至平成24年4月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月21日 定時株主総会	普通株式	135,861	8	平成23年7月31日	平成23年10月24日	利益剰余金
平成24年3月16日 取締役会	普通株式	135,861	8	平成24年1月31日	平成24年4月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年8月1日至平成23年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,618,833	7,941,828	19,560,661	-	19,560,661
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	11,618,833	7,941,828	19,560,661	-	19,560,661
セグメント利益又は損失( )	732,859	144,693	588,165	586,105	2,060

(注)1. セグメント利益又は損失( )の調整額 586,105千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては55,359千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年8月1日至平成24年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,408,063	7,808,005	21,216,069	-	21,216,069
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	13,408,063	7,808,005	21,216,069	-	21,216,069
セグメント利益又は損失( )	1,455,634	450,372	1,005,261	656,144	349,116

(注)1. セグメント利益又は損失( )の調整額 656,144千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては126,032千円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年4月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )	3円90銭	6円42銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ( )(千円)	68,835	108,949
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	68,835	108,949
普通株式の期中平均株式数(株)	17,649,975	16,982,638

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年3月16日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (1) 中間配当による配当金の総額..... 135,861千円
  - (2) 1株当たりの金額..... 8円00銭
  - (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日..... 平成24年4月9日
- (注) 平成24年1月31日最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年6月14日

株式会社稲葉製作所  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 向川 政序 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 藤原 選 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社稲葉製作所の平成23年8月1日から平成24年7月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年2月1日から平成24年4月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年8月1日から平成24年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社稲葉製作所及び連結子会社の平成24年4月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。